

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 213-8505
 住 所 川崎市高津区下野毛二丁目12番1号
 氏 名 味の素食品株式会社
 代表取締役社長 辻田 浩志
 (代理人) 高津工場長 深澤 方浩
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	クノール食品(株)		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区下野毛二丁目12番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	スープ類、その他食料品製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,026	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 7,228 t-CO ₂	(実) 7,675 t-CO ₂	(実) 7,836 t-CO ₂	(実) 7,993 t-CO ₂	(実) 7,013 t-CO ₂
	(調) 7,156	(調) 7,596	(調) 7,754	(調) 7,910	
削減率		(実) -6.2 %	(実) -8.4 %	(実) -10.6 %	(実) 3.0 %
		(調) -6.1	(調) -8.4	(調) -10.5	

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	生産数量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	0.4016	0.3818	0.3513	0.3700	0.3896
削減率		4.9 %	12.5 %	7.9 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	ボイラー集約化によりガス使用量削減、空調機更新・照明LED化により省電力を推進し、省エネルギー活動を実践した。しかし基準年度に対して生産量が1.12倍まで伸長したため、温室効果ガス排出量は6.2%増加している。温室効果ガス排出量原単位については4.9%削減することができた。
第2年度	空調機更新・照明LED化により省電力を推進し、省エネルギー活動を実践した。しかし基準年度に対して生産量が1.24倍まで伸長したため、温室効果ガス排出量は8.4%増加している。温室効果ガス排出量原単位については12.5%削減することができた。
第3年度	期中での工場移転決定（2021年上期）により、当初計画していた冷凍機・空調機の更新が中止となったが、照明LED化による省電力化は引き続き行った。生産量は基準年度の1.2倍に伸長し、温室効果ガス排出量が10.6%増加したが、原単位では7.9%削減することができた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制 ○主要設備の保全管理 ○空調機の管理 ○照明設備の管理運用
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制を図った ○主要設備の保全管理 ○空調機の管理 ○照明設備の管理運用 <p>環境会議を開催し、省エネ活動の進捗管理・共有化 日常点検・定期整備を実践した 空調機更新を推進した 照明のLED化を推進した</p>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制を図った ○主要設備の保全管理 ○空調機の管理 ○照明設備の管理運用 <p>環境会議を開催し、省エネ活動の進捗管理・共有化 日常点検・定期整備を実践した 空調機更新を推進した 照明のLED化を推進した</p>
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制 ○主要設備の保全管理 ○空調機の管理 ○照明設備の管理運用 <p>環境会議を開催し、省エネ活動の進捗管理・共有化を 図った 日常点検・定期整備を実践した 空調機の定期点検を実施した 照明のLED化を推進した 休憩時間、不在時等の居室消灯</p>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

利用計画無し

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	7,717	t-CO ₂
(調)	7,708	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
クノール食品㈱	川崎市高津区下野毛二丁目12番1号	0999	その他食料品製造業	7,717 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--